

区分	科目名	担当教員	実務経験	学年	時数	時期	種別
実習	ガソリン・エンジン点検 分解組立調整検査 1	浅井 朋晃	メーカー系 自動車販売会社 自動車整備士	3	18	前期	必修
授業の概要	ガソリンエンジンの分解・組立及び点検・修理・調整方法を学ぶ。						
授業の進め方	ガソリン・エンジン本体の分解・組み立てを行う。						
到達目標	エンジンの違いによる構成部品の違い、手順の違い、調整方法の違いを理解する。						
講義内容							
時間	項目	目標					
1 ～ 6	直列6シリンダエンジン	直列6シリンダエンジンを分解して内部構造を学ぶ					
7 ～ 9	直列6シリンダエンジン	直列6シリンダエンジンOHV型の構成部品を学ぶ。 ラッシュ・アジャスタ及びインナ・ギヤ式オイルポンプの作動等を学ぶ					
10 ～ 15	直列6シリンダエンジン	直列6シリンダエンジン組立手順を学ぶ					
16 ～ 18	実技試験						
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)						
教科書・配布物	(社)日本自動車整備振興会連合会 「二級ガソリン自動車・エンジン編」						
アドバイス	エンジンが変わると、分解・組み立ての手順等も変わってきます。また、構成される部品も変わりますので、しっかりと確認して理解していきましょう。						

区分	科目名	担当教員	実務経験	学年	時数	時期	種別
実習	ガソリン・エンジン点検 分解組立調整検査 2	浅井 朋晃	メーカー系 自動車販売会社 自動車整備士	3	18	前期	必修
授業の概要	外部診断器を使用した、電子制御装置の高度な診断を身につける。						
授業の進め方	故障診断装置を使用し実際に故障探究を行う。						
到達目標	外部診断器の使い方、電子制御装置の高度な診断を身に付ける。						
講義内容							
時間	項目	目標					
1 ～ 6	故障診断	エンジンの3要素を学び、それを基にした故障診断のやり方を身につける					
7 ～ 11	外部診断器	外部診断器の使用方法を学ぶ。 外部診断器を使用し、様々なデータの確認や故障状態の確認をする					
12 ～ 16	故障診断	外部診断器を使用し、故障個所を特定する。 故障している教材車両の故障個所を特定する。					
17 ～ 18	実技試験						
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)						
教科書・配布物	(社)日本自動車整備振興会連合会 「二級ガソリン自動車・エンジン編」						
アドバイス	現在の自動車は電子制御装置ばかりで構成されていますので、自動車整備士は故障診断装置を使えないと仕事できません。しっかりと診断技術を身に付けてください。						

区分	科目名	担当教員	実務経験	学年	時数	時期	種別
実習	ガソリン・エンジン点検 分解組立調整検査 3	浅井 朋晃	メーカー系 自動車販売会社 自動車整備士	3	21	前期	必修
授業の概要	ガソリンエンジンの分解・組立及び点検・修理・調整方法を学ぶ。						
授業の進め方	ガソリン・エンジン本体の分解・組立てを行う。						
到達目標	ベンチエンジンの分解組立を通して、正しい手順について理解する。 分解したベンチエンジンがエンジン始動できるように組立て・調整を行える。						
講義内容							
時間	項目	目標					
1 ～ 6	ベンチエンジンの 分解点検組立	直列4シリンダOHV型ベンチエンジンの分解手順を学ぶ					
7 ～ 12	ベンチエンジンの 分解点検組立	直列4シリンダOHV型ベンチエンジンをO/Hし点検・清掃のやり方を学ぶ					
13 ～ 18	ベンチエンジンの 分解点検組立	直列4シリンダOHV型ベンチエンジンの組立調整の方法を学び、エンジンを始動する。					
19 ～ 21	実技試験						
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)						
教科書・配布物	(社)日本自動車整備振興会連合会 「二級ガソリン自動車・エンジン編」						
アドバイス	実際に作動するエンジンを点検、整備する基本を身につけます。エンジンの仕組みをしっかり理解して、応用に役立てましょう。						

区分	科目名	担当教員	実務経験	学年	時数	時期	種別
実習	ガソリン・エンジン点検 分解組立調整検査 4	矢野 史門	メーカー系 自動車販売会社 自動車整備士	3	18	後期	必修
授業の概要	オシロスコープを使用した、電子制御装置の高度な診断を身につける。						
授業の進め方	オシロスコープを使用し実際に故障探究を行う。						
到達目標	オシロスコープの使い方、電子制御装置の高度な診断を身に付ける。						
講義内容							
時間	項目	目標					
1 ～ 6	故障診断	エンジンの3要素を学び、それを基にした故障診断のやり方を身につける					
7 ～ 11	外部診断器	オシロスコープの使用方法を学ぶ。 オシロスコープを使用し、様々なデータの確認や故障状態の確認をする					
12 ～ 16	故障診断	オシロスコープを使用し、故障個所を特定する。 故障している教材車両の故障個所を特定する。					
17 ～ 18	実技試験						
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)						
教科書・配布物	(社)日本自動車整備振興会連合会 「二級ガソリン自動車・エンジン編」						
アドバイス	現在の自動車は電子制御装置ばかりで構成されていますので、自動車整備士は故障診断装置を使えないと仕事できません。しっかりと診断技術を身に付けてください。						

区分	科目名	担当教員	実務経験	学年	時数	時期	種別
実習	ガソリン・エンジン点検 分解組立調整検査 5	全教員	メーカー系 自動車販売会社 自動車整備士	3	56	通年	必修
授業の概要	実動車を使用し、ガソリン・エンジン部品等の点検・分解・組立・調整・検査を行う。						
授業の進め方	各班ローテーションにて、教習車や教材車の点検整備等を行い、必要に応じた整備作業を実施する。						
到達目標	就職後の企業にて即戦力として働けるようになる。						
講義内容							
時間	項目	目標					
1 ～ 53	応用点検実習	<p>様々な教材車を使用し、実動車の点検・整備ができるようになるための実習を行う。</p> <p>自動車学校にて実動している様々な教習車の点検等を実施し、消耗品や不具合部品の発見を行う。</p> <p>必要に応じて部品の交換・調整を行い、安全に走行できる状態へと修復する。</p> <p>必要に応じて車両の検査を行い、安全に走行できる状態であることを確認する。</p>					
54 ～ 56	実技試験						
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)						
教科書・配布物	必要に応じた資料を配布する。						
アドバイス	就職して即戦力となるように努力してください。また、安全作業を徹底し正しい作業方法を身につけてください。						